

令和6年度階層別セミナー「現場改善の極意」

好評であった2023年度仙南地域産業経済セミナー「現場改善の極意」の
畠山 鎮氏*を講師に、ものづくり現場の改善について学びます。*別紙参照

「改善を実践する現場力アップのために」

全体の99.7%を占める中小企業の労働生産性向上は経営（者）が先頭に
立って自社の課題認識と解決アプローチを実践する必要があります。

しかし、改善をし続ける「現場力」なくして成果は得られません。改善に
取り組む為の基本を学び、社員を活かし改善を活発にする組織風土醸成につ
いて学びます。改善の相談歓迎！セミナーに反映します。

講師：応用品質研究所 畠山 鎮（はたけやま まもる）氏

①ベース（入門・基礎）編（2日コース）

日時

令和6年11月22日(金)

9:00~16:00

対象

現場改善を担う社員
(リーダー含む)

令和7年 1月31日(金) (フォローアップ研修)

9:00~12:00

場所

仙南職業訓練センター大講義室
(柴田郡柴田町船岡字照内1-9)

定員

30人

参加費

21,000円

(税込)

17,000円*

(税込)

*NPO仙南広域工業会会員

②ミドル（マネージャー）編

日時

令和7年1月31日(金)

13:30~16:00

対象

現場改善監督者

場所

仙南職業訓練センター大講義室
(柴田郡柴田町船岡字照内1-9)

定員

20人

参加費

17,000円

(税込)

14,000円*

(税込)

*NPO仙南広域工業会会員

締切

令和6年10月29日(火)

別紙の申込書に記載しEメールでお申込みください

問い合わせ先

TEL 080-6008-5605

NPO仙南広域工業会

事務局長

押野源治

申し込み先

E-mail ge.oshino@senkou-miyagi.jp

講師：応用品質研究所 畠山 鎮（はたけやま まもる）氏
〈プロフィール〉

- 青森県八戸市出身
- 八戸工業高等学校、電気通信大学機械制御工学科卒
- 仙台小林製薬株式会社
→工程安定化による無停止・歩留まり大幅向上の工程改善実施
- セイコーエプソン株式会社
→国内外の品質向上活動の指導と人材育成を行い、15年間で1000件以上の事例に携わる
→日本規格協会講師、アジア生産性本部講師、大手自動車会社、大手化学メーカーの技術指導実施
→検査コストダウン活動、検査の合理化によるゼロディフェクト活動（不適合品零）の企画と指揮実施
→品質統合システムの企画立ち上げ運営、規格化を実現
→国内・海外拠点の受け入れ部品品質、部品加工品質、組み立て品質のリアルタイムモニタリングを実現
- YKK株式会社
→品質工学推進責任者として、YKKグループ全体の企画・運営・指導実施
→新入社員・管理職に対して品質管理・品質保証・品質工学の講座運営

（令和6年2月15日実施済）

2023年度仙南地域産業経済セミナー

講演2 14:45~16:00

（仙南広域工業会、大河原地方振興事務所 共催）

「現場改善の極意（儲けるための改善）」

講師：応用品質研究所 畠山 鎮（はたけやま まもる）氏

世の中では、industrial4.0やIoT,DX,AIの活用が企業や大学で研究されています。しかし、現場環境の整備等、前提条件を満たさなければその活用は難しいのが実情です。このため生産管理の3要素について改めてその重要性を確認することをテーマにご説明いただきました。

また、これまで国内外で品質向上により利益貢献を行ってきた経験から、「品質」の尺度で得られる投資を抑えた改善についてお話しいただきました。

セミナー評価（裏面）

2023年度仙南地域産業経済セミナー アンケート結果

令和6年2月15日(木)開催

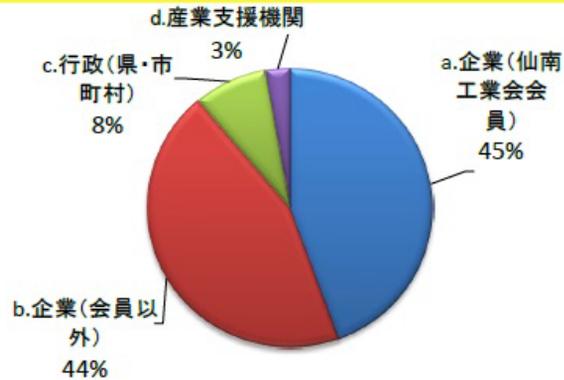
参加者46人 回答者37人 回収率80.4%
(※事務局除く)

(1) あなたの所属を教えてください。

a.企業(仙南工業会会員)	16
b.企業(会員以外)	16
c.行政(県・市町村)	3
d.産業支援機関	1
e.その他	0

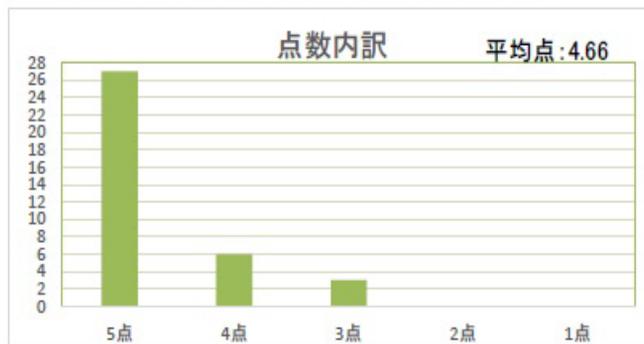
合計 36人

※回答者37人のうち1人は無記入



(2) 聴講した「講演」についてお聞かせください。

講演②「現場改善の極意(儲けるための改善)」



評価点数
参考になった 5 4 3 2 1 参考にならなかった

※回答者37人のうち1人は無採点

(理由/御意見)

- ・品質工学の論文を数件拝読しています。今回は特にマインドに注力したお話が聴けて気づきを多く得ることができました。
- ・とても参考になりました。今までの考え方をまるっと変えられるすばらしい内容でした。
- ・改善していくことに対し、セミナーを聞く前までは、目の前の事が楽になるという考えが強かったが、改善後は目的から目標、そして終わりまでゴールをしっかり見据えて行動していくことが大事だと学ばせていただきました。ありがとうございます。
- ・品質管理のマネージャーをやっております。自分の心に刺さる内容で、自分の未熟さを痛感しました。会社の今後の目標は「工場としての付加価値の向上」であり、進むべく方向性、光が見えてきました。本日の講演を糧に会社に戻って明るく元気に改善を進めていくつもりです。
- ・改善の考え方について目から鱗でした。資料にないスライドが多くメモできなかったことが多かったのが残念でした。
- ・自分のマネジメントで気にしている内容と重複する部分が多かったが、体系的にまとめられていて参考になったと同時に方向性が合っていることを確認できた。
- ・思い当たることが多くあり共感しました。
- ・現状把握では判断必要なし、もっともです。
- ・考え方がおもしろかった。
- ・7つがためになりました。
- ・品質工学という専門的な話では無かったが、品質に対する考え方などを非常に分かりやすかった。
- ・モラル・モラールの重要性が大変勉強になった。
- ・改善の「極意」そのものをお聞きすることができました。
- ・社内での課題や意識の共有に悩んでいた為、参考になりました。
- ・今、改善活動に取り組んでいる中での問題解決のヒントとなる部分が多くあったため。
- ・10年以上改善活動が滞っている中、やる気を出させていただくセミナーでした。
- ・体験談を交えた具体的な改善の進め方が参考になった。
- ・成功事例はよく分かりましたが、どのように自社において展開するのは、工夫が必要だと感じました。
- ・計画の前の現状把握の重要性が理解できた。自分はまだマネージメント側ではないが、「心の品質」を高めることを意識してくれるマネージャーが増えてほしいと思った。
- ・同様な考えを持っていたが、改めて考えを整理できた。
- ・現実的な内容で人を改善に促す方法を知ることができた。
- ・何に置き換えて改善するか、どのような対処や振る舞いをすれば良いか分かった。
- ・品質改善を勉強してみたいと思った。
- ・思い出させられる内容であった。基本に立ち返り考える事も大切と感じた。数値化も重要。